

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 1 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市図書館協議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>						
日 時	令和 4 年 5 月 2 0 日 (金)		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 3 0 分		
場 所	中央図書館 視聴覚ホール					
出 席 者	委 員	出井委員長	檜山副委員長	伊垣委員	金高委員	木村委員
		○	○	○	○	○
		小森委員	本木委員	野澤委員	野瀬委員	渡邊委員
		欠	欠	○	欠	○
事務局	<p>○教育委員会生涯学習課 土田課長 古川主査 石井主任 加藤主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p>					
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 各館事業報告 (令和 3 年度 1~3 月、令和 4 年度 4 月) 中央・鶴瀬西・ふじみ野</p> <p>3. 議題「令和 4 年度事業計画について」</p> <p>4. その他 (次回開催日程)</p> <p>5. 閉会</p>					
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見市図書館協議会 令和 4 年度 5 月定例会次第 ・ 2022 年 1 月~4 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・ さざなみだより (2022.2 月号~2022.5 月号) ・ とびらしんばん (2022.4 月号) ・ BOOK ADVENTURES (237・238 号) ・ つるせにしんばん (2022.2 月号~2022.5 月号) ・ ふんちゃんしんばん (2022.2 月号~2022.5 月号) ・ 第 4 次富士見市立図書館サービス計画 ・ 令和 3 年度アンケート報告書 					

議 事 内 容

田畑副館長

1. 開会

開会あいさつ

生涯学習課新任職員自己紹介（土田課長、加藤主任）

2. 各館事業報告（令和3年度1～3月、令和4年度4月）

図書館

【中央図書館】

・資料に基づき報告

おはなし会・映画会は、3月にまん延防止重点措置が解除され、4月から通常通り月2回ずつ開催されるようになり、参加人数も増えてきている。

ブックスタート事業は2月3月はまん延防止のため中止となっていたが、4月より再開されている。

ミニコンサートは、キラリ財団が主催で、1ヶ月に1回テーマを決めて、楽器演奏を開催している。回を追うごとに観客数も増えて来ている。

<テーマ展示について>

1月の一般展示「紅白」は、赤と白の背表紙の本を集め、色分けをして展示した。児童は、お正月にちなみ「にほんのあそび・むかしばなし」をテーマに展示した。

2月はバレンタインデーと、今年は2022年2月22日と2が並ぶ「スーパー猫の日」があったので、猫に関連した展示を行った。

3月はウクライナとロシアの戦争がはじまり、利用者より「ウクライナ、ロシアの絵本には寒い地域ならではの肩を寄せ合って生きているという内容が多いのに、こんな状況になっているのは悲しい」という投書をいただき、それを受け「ウクライナとロシアの絵本」をテーマに展示をした。利用が多いため現在も継続展示中である。

4月は「出会い」や新しいことを始める、をテーマに展開した。

<自主事業について>

1月は人気の「貸出福袋」。昨年アンケートにあった「中身がわかるともっと嬉しい」という意見を受けて、今年は福袋を作成したスタッフの一言メッセージをつけて展開したところ、非常に好評であった。

「ぬいぐるみおとまり会」は今回、ぬいぐるみを電車に乗せて、切符を配る等、細かいところに工夫を凝らし、参加者に好評であった。

	<p>「よみうり回想サロンで回想法」は70代以上の方を対象とし、昭和30年代の出来事を、DVDを観ながら当時を振り返って語っていただく内容だった。高度経済成長期の真只中、ひたむきに生きて来られた方々のお話を伺い、この貴重なお話をいろいろな世代の皆さんに聴いていただきたいと強く思った。</p> <p>【質疑応答】</p>
委員	<p>投書やアンケートを反映しているのが素晴らしい。利用者からの投書はどのようなものがどの程度あるのか。また、「よみうり回想サロン」の報告をお願いしたい。</p>
図書館	<p>投書については、改善できる点はすべて改善させていただいており、できないことについても、回答は必ず掲示している。</p> <p>今回の「よみうり回想サロン」は、図書館の利用者は70代以上が多いのに対し、その年代を対象としたイベントがなく、どのようなものを企画したらよいかと考えた時、この「回想サロン」が良いのではと思った。今回の聞き手は図書館員だけであったが、当時を生きて来られた方々の貴重なお話は、当時を知らない若い世代にも聞いてもらいたいと強く思った。</p>
委員	<p>＜障がい者サービスについて＞</p> <p>先日、初めての障がい者サービスの利用者懇談会や、講師を招いた研修会などが行われ、図書館の担当者が積極的に動いている印象がある。このようなことも市民の方に知っていただきたい。</p> <p>また、図書館の障がい者サービスは、視覚障がい者が対象だが、識字障がいや、高齢となって読むことが困難な人なども含め、もっと広く対応してほしい。</p>
図書館	<p>今回初めて障がい者サービスの利用者懇談会を行い、貴重な意見を聞くことができ、非常に有意義だった。これを受け、図書館ですぐに改善できることには着手し始めた。また今後の対面朗読では本だけでなく、家電製品の取り扱い説明書の朗読なども対象に考えている。</p>
図書館	<p>音訳ボランティアの皆さんが積極的に活動されているのに感化され、図書館の障がい者サービス担当者も活動しており、良い相乗効果が生まれていると感じている。</p>
生涯学習課	<p>広報の限られた紙面ではあるが、新しくサービスを開始する際は図書館のページにて情報発信していく。</p>

委員	<p>投書に対する回答について話があったが、利用者アンケートの中にも気になる意見がある。それに対する返しはどのようにしているのか。</p>
図書館	<p>内容を吟味して、できることは対応していきたいと考えている。</p>
委員	<p>4月から配布している「読書通帳」のことも報告書に載せてほしい。また、障がい者サービスの音訳者のことも「さざなみだより」にも情報を載せてはどうか。</p>
図書館	<p>図書館のボランティアについては、ホームページにて活動状況等を紹介している。</p>
図書館	<p>【鶴瀬西分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告 <p>おはなし会はコロナ禍の影響もあり、開催しているが参加がない状況もあった。4月からは安定している。</p> <p>また、つるせ台小学校の学童へ伺っておはなし会もした。今後は開催日時場所など相談となるが、臨機応変に調整しながらやっていきたい。</p> <p>外部連携として、新たにれんげ保育園に「つるせにししんぶん」などを配布した。第6保育所はこれまで園児が来館しておはなし会や団体貸出をしていたが、コロナ禍の集会室定員制限などにより、おはなし会は再開できていない。</p> <p>展示については、今までの作家追悼などに加え、猫の日やこども読書週間ミニ展示も増やしている。</p> <p>YA サポーター（高校生）から図書館で活動してみたいというお話があり、1月16日のおはなし会と4月のYA企画の打ち合わせにも参加いただいた。またカウンター業務もしていただいた。この受け入れを通して、今YA世代にはどんなニーズがあるのか、それを形にしていくにはどのようにしたらよいか考えた。そしてそれを自主事業として4月に“押しBOX”という形にした。また、資料の検索方法についても利用者へ案内していくことも必要だということも考えるきっかけとなった。</p> <p>「つるせ台小学校合同 新春企画貸出福袋」について、福袋の中につるせ台小学校のミニ職場体験で参加してくれた児童が作ったオリジナルおみくじを入れた。また福袋の選書から漏れた本も「残り</p>

物には福がある」として面出し展示した。実際に本が見えると貸出しにも繋がった。

「乳幼児企画コンサート」の工夫した点は、始めた時はハロウィン、次にクリスマスと回を重ね、今回は新春コンサートとした。コロナ禍でリトミックが思うようにできないが、季節にあった選曲と節分にも近いこともあり、豆やビーズを使ってシェーカーを作り、それに鬼のお面をつけたものを振って音楽に参加してもらった。

学校連携として、2月のつるせ台小学校、鶴瀬小学校の入学説明会で図書館利用カード・電子図書館登録の案内を配布した。つるせ台小学校は、既に登録、配布が終わっている。

富士見台中学校のアンケート結果について。富士見台中学校はつるせ台小学校、鶴瀬小学校、諏訪小学校から進学している。図書館利用カードを持っている割合は昨年度 71%、今年度は 69%、ほぼ 70%の生徒が保有している。スマホ・タブレット読書に興味があるかの問いについては、昨年度は 51%、今年度は 42%と下がっていた。また資料をネットから予約しているのは 10%に留まっていた。中学生になると色々な事が忙しくなるので、小学生のうちから慣れておくことが大切なのではと考える。小学生についても電子図書館利用のアプローチもしていきたいと考えている。

「わらべうた講座」の今回の特徴としては、利用者の他に関沢児童館の先生 4 名の参加があった。わらべうたはクラシカルの中にも良さがあり親御さんに伝えていきたい。また、利用者のみならず他の方にも発信できていることが良かった。思いを共有できた方たちとも連携も深めていきたい。

「図書館博士 本の名人になろう」今回は子どもたちが簡単なクイズと難しいクイズから選び、書架に行って選び回答をするというものだった。職員が手伝いをしつつ「こうやって調べればいいんだ」ということがクイズを何題か解くうちにわかり楽しい講座になったと思う。

3月20日の大きい子のおはなし会では英語を取り入れた。カザフスタンの方にボランティアに協力いただき開催。次は6月を予定している。

「大人のための折り紙教室おひなさま」について。折り紙教室はコロナ禍により何回も延期となり、やっと開催できた。出来上がりには飾り結びも使っており、前に実施した講座も生かす形となった。次回は5月に開催するが、その申込は初日で定員がいっぱいとなった。

	<p>「YA 企画 推し BOX」は、各講師より箱の中の作品としての構図や色使い、また作成にあたっての著作権についてお話しいただき、完成に導いた。当初中学生以上を対象としていたが、空きがあったため小学 5 年生以上としたところ 5 年生の男子 2 名も参加してくれた。この 2 名は同じようなテーマで作品を作ったが全く違うものが出来上がり興味深かった。また、現在館内にはこの企画を生かして市制施行 50 周年に因んだ「推し BOX」を飾っている。</p>
委員	<p>【質疑応答】 先日分館に行ったとき、「雑誌のちから」と「書評掲載本リスト」があり読んでみたいと思ったが、内容も要約して掲載していただくと借りてみようと思うので、出来ればお願いしたい。</p>
図書館	<p>検討していく。</p>
委員	<p>中央館では利用者は 70 代が多いとのことだったが、西分館ではどうか。</p>
図書館	<p>西分館も多いと思う。70 代以上を意識したイベントとしては、指先を使う「折り紙教室」がそうであるが、実際はもっと若い方も参加されている。現在は手芸系が多いが、かつては「よみうり回想サロン」も開催した。必要に応じて考えていく。</p>
委員	<p>おはなし会でカザフスタンの方が協力してくださっていることも、もっと広めてほしい。図書館のホームページだけではなかなか伝わらない。市のツイッターなどに展開してもらったらどうか。</p>
図書館	<p>市の子育て応援モバイルサイト「スマイルなび」でも毎月のイベントの発信をさせていただいているほか、西分館のフェイスブックでも発信している。</p>
委員	<p>報告がたくさんあり、盛り上がっている感じがする。</p>
図書館	<p>今後ともご協力よろしく申し上げます。</p>
図書館	<p>【ふじみ野分館】 ・資料に基づいて報告 おはなし会についてはプレイルームの子育て支援センターとふじみ野児童館で行っているが、2 月 3 月はまん延防止重点措置の実施のため中止。4 月から再開している。</p>

ぶんちゃんひろばは実施しているが、2月の勝瀬中学校科学部とのコラボ企画は、部活動の校外活動が自粛となったため中止となった。

映画会は毎月開催でき、4月は子どもの日が近いこともあり新聞紙で兜や剣をつくる工作会付きとした。

団体貸出の慶櫻ふじみ保育園は「絵本お届け便」、ふじみ野保育園子育て支援センターは「プレイルーム閲覧用」である。毎月お借りいただいている鶴瀬西交流センター紙芝居ボランティアさんからは紙芝居の季節展示が良いというお声をいただき、励みになっている。

自主事業について、「新春貸出福袋」のふじみ野分館の特徴としては、11月に行った「水引製作」をうけて職員が作った水引を熨斗につけて華やかさをだした。子供用にはおまけをつけプラスアルファのお楽しみもあるようにした。

2月の「絵本にでてくるお菓子作り」は一昨年緊急事態宣言でできなかった分の振替分も含め2日間4回行った。一昨年中止になった会の参加予定者にお声がけをし、お子さんも親御さんも楽しみにしていただき、「参加するために作ったエプロンをやっと使うことができた」というお話も伺った。内容もただお菓子を作るだけでなく、絵本と組み合わせている。今回はアーノルド・ローベルさんのがまくんとかえる君をテーマにした。がまくんとかえるくんのシリーズは教科書にも教材として載っており、一昨年昨年と図書館から1年生にセカンドブックとしてプレゼントさせていただいていることもあり、参加者は小学生が多い回となった。

「エアロボックス」は昨年の定期開催が好評だったので、今年度も引き続き年4回の定期開催をしていく。参加型絵本の読み聞かせと簡単なエアロボックスの組み合わせで、多目的ホールを利用している。施設の利点を活かしたイベントとなっている。

外部連携の小学校では、ふじみ野小学校、勝瀬小学校の1年生希望者に図書館の利用カードの作成と電子図書館の登録を行った。またゴールデンウィーク前に1年生全員に4冊の紹介ではあるが「1ねんせいにおすすめの本」を配布させていただいた。

ふじみ野保育園、慶櫻ふじみ保育園では4月よりリニューアルした「ぶんちゃんしんぶん」を園児全世帯に配布。リニューアルした箇所は、これまでの絵本紹介にプラス、子育て展示で紹介している本も加えた。

ふじみ野児童館では4月23日にアニメーション「しろくまのパンツ」を行った。以前ぶんちゃんひろばで行ったものだが、児童館では小学生以上の参加で、年齢が違くとまた違った発想になり面白いと感じた。

	<p>ふじみ野交流センター開催の「ふじみ野じゅく」には引き続き資料提供とブックリストの配布、図書館内でも1ヶ月コラボ展示をしている。</p> <p>テーマ展示について定例以外としては、毎年行っている「科学道100冊2021」を展示した。クラシックスと年ごとの4つのテーマで展開され、市内所蔵の67タイトルの資料を展示した。普段理系を取り上げることが少ないので、これからも続けていきたい。</p> <p>中央館ではウクライナ・ロシアの絵本を展示しているが、ふじみ野分館では一般向けに「ウクライナ・ロシアを知る」というテーマで展示した。情勢が気になる時期であるので、貸出も多い展示となった。</p> <p>館内では毎月折り紙などを使ったお子さんが楽しめる企画をしている。その中で「ポプラディアを使ってみよう」の企画は12月終わりから1月にかけてを第1弾、3月に第2弾を開催した。第1弾が反響があったので第2弾も行い、第2弾ではくじ引きで言葉を引いてそれを調べるというゲーム感覚を取り入れた。小さい子の参加が多いのでゲーム感覚で辞書引きを楽しんでもらえたらと思っている。夏休みのスタンプラリーにも取り入れていきたいと考えている。</p>
委員	<p>【質疑応答】</p> <p>それぞれの館で素敵な取り組みをしているが、良かった取り組みが違う館でも行うということはあるか。</p>
図書館	<p>図書館イベントについて、TRC本社から様々な情報があり、回想法は西分館、ふじみ野（交流センター）でも行っている。ポプラディアも全館で行っている。ただ、館の特徴もあるので、全く同じように展開するのではなく特徴をだして行っている。</p>
委員	<p>図書館からの報告を聞くにつけ、図書館から遠い地域の子ども達へはどうしたものかと思う。これからの今年度の動きを見て考えていくことだろうか。図書館だけのくくりではなく生涯学習課、学校教育課とも考えていってほしいと思っている。</p>
生涯学習課	<p>図書館から遠い学校については、図書館より団体貸出はどうかと話をしている。まずはそこから取り組みをしている。</p>
委員	<p>水谷小学校の図書室が、教室が足りないがために削減されている。水谷東公民館図書室と連携をとってほしいと思う。</p>
生涯学習課	<p>図書館とも相談していく。</p>

委員	<p>園として図書館を知っていても距離があり団体で利用するのは難しい現状がある。自主事業の報告を聞いて、この図書館に行くところを楽しめるという特徴があるが、地域性があり、そこまで行けない利用者にとって、いい企画が上手く連携されていくと色々な所で、色々な人が楽しめることが広がっていくと思う。児童広報誌は園でも保護者向けの貸出コーナー担当者に提示している。また、子育て支援センターに配布して、より多くの人に見てもらいたい。</p>
委員	<p>ふじみ野分館で「1ねんせいにおすすめの本」を配布したとのことだが、2校だけか。全市に配れるといいのではないか。例えばセカンドブック事業で中央館で4冊、鶴瀬西分館で4冊、ふじみ野分館で4冊選んでリストを作り配布してはどうか。</p>
図書館	<p>1年生への利用カード配布時や入学説明会の資料配布時に各館でもブックリストを入れている。また、夏休みには「ほんのくにたんけん」を全館で作成し全校に配る予定もある。</p>
図書館	<p>3. 令和4年度事業計画について</p> <p>令和2年度からTRCが指定管理者となった。コロナ禍でまだ通常開館ができていないが、今年の終わり頃よりおはなし会の回数など少しずつ増やしている。ブックスタートについても2月3月は中止となってしまったが、その振替として4月5月に月2回開催する予定。しかし、まだ市の意向で読み聞かせが出来ず、絵本のみのお渡しとなっているが、今後改善されて行くと考えている。また、以前は2冊ずつセットされたものを1セット選んでいただいていたが、既に持っておられる方も多く、これまでの在庫とバラエティを増やし、6冊の中から2冊選んでもらうようにしている。</p> <p>中学校の職場体験では勝瀬中学校の特別支援学級は中央図書館で受け入れを予定しているが、その他については昨年に続き今年も中止の方向である。</p> <p>小学校1年生の図書館利用カードの新規登録とセカンドブック事業の本の選定と発注をしており、6月にお渡し出来るように進めている。一昨年、昨年は『ふたりはいつしょ』シリーズ、今年度は『たんたのたんけん』を選んでいる。</p> <p>電子図書館では勝瀬中学校が先生、生徒を含め全校780名程の登録希望があり進めている。</p>

	<p>中央図書館では 7 月から託児サービスも開始したいと思っている。2 階の和室でお子さんを預かり、親御さんにゆっくり本を見てもらう、あるいは 1 階に育児コンシェルジュを配置していこうと考えている。その他、子ども司書講座、図書館まつりも実施予定である。月 1 回のミニコンサートも好評なので引き続き実施していくが、参加人数が増えているのでやり方を検討していく。</p> <p>コロナ禍でどこまでできるか不透明だが、皆様のお知恵を借りながら少しずつコロナ前の状況に戻れると良いと思っている。今後ともアドバイスを含めよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>前回、図書館まつりでの講演の人選を問われたが、その後どうなったか。</p>
図書館	<p>絵本作家のとよたかずひこさんと、富士見ビデオクラブに依頼した。ビデオクラブはすでに編集作業を開始して下さっており、富士見市の 50 年として皆さんにご覧いただきたいと思っている。</p> <p>また、タイムカプセルも開封もする。タイムカプセルには図書館が出来た当時の小・中学生、市民のみなさんから市制 50 周年に向けた手紙を入れてもらっており、それをお返ししようと考えている。</p>
委員	<p>何年かぶりに市民文化祭をやりそうだが、図書館は参加しないのか。</p>
図書館	<p>それはご相談になるかと思うが、今年は予定がない。</p>
委員	<p>図書館の読み聞かせボランティアとして機会をいただければ参加もしたいので、情報をいただけたらと思う。</p>
委員	<p>利用者アンケートの中で、資料の充実を希望する声が多いが、図書館の資料収集の基準はあるか。選書基準などがあれば市民にも見せていただければと思う。市民も蔵書数が増えればいいわけではなく、富士見市の図書館がどのような方向で良くなっていくのか関心があると思う。</p>
図書館	<p>内規的な選定基準はある。富士見市の特徴としては中央館が大きく分館が小さく、蔵書数の差が大きい。選書をする際、中央館はレベルの高いところから入門的なものまで買うように、分館は入り易いような本を選ぶように心掛けている。また、3 館しかないため、複本を持つことも難しい。お互いに補完しあうように買っている。</p>
委員	<p>富士見市の方から、こういう本を充実させてほしいという要望はあるか。</p>

図書館	<p>指定管理者の方で選ばせていただいている。富士見市は近隣の郷土資料もまんべんなく収集しており、他の図書館にない特徴となっている。渋谷定輔についてもデジタル化できるものは公開していきたいと考えている。</p>
委員長	<p>利用者アンケートに古い本が多いと書かれているのが気になったが、図書館は本の保存をすることをしっかり市民に返していかないと、一般の書店と変わりがないととらえられてもいけない。選書についても、市民の皆さんの意見を聞く事も大事で基軸になると思うが、図書館として持ってなくてはならない資料も沢山あるので、市民の方に知っていただくことも大事だと思う。</p>
図書館	<p>書店と図書館は基本的に違う。図書館は基本となる資料、参考文献として使うものなどは残さなくてはならない。流行りすたりがある本は一時的には動くが動きが止まってしまうと動かなくなってしまう。選書、除架、除籍もトータルで考えている。</p>
委員	<p>隣のふじみ野市も同じ TRC だが、本のラインナップが違う。富士見市になくてふじみ野市にあるのは、昔こういうことがあったから、この手の資料が多いのだなあと思うと興味深い。埼玉県横断検索で資料を探す時、地域性が伺われることもある。どういうふうの本を選んでいるのかは興味があるところだ。所蔵がない資料をリクエストした際、他市から取り寄せてもらう時もあるし、購入してもらえるときもある。選書基準をオープンにしても、それを見ても分かるわけではないと思うが、やはり多くの利用者が基準を知りたいと思っていると思う。</p>
図書館	<p>選書に関しては TRC で出している本を使って選書をしている所が多いが、選書している人はそれぞれであり、館の特徴がでる。そして予算もある。所蔵の無いものをカバーするのが相互貸借というサービスであり、利用してほしい。</p>
委員長	<p>収集方針はあるか。</p>
図書館	<p>ある。</p>
生涯学習課	<p>選定会議に出席しているが、各館の肌感覚でこの本はこの館で利用されるというようなやり取りが交わされている。日常のカウンターでの利用者とのやり取りの中で館のカラーは生まれているのだと思う。それを明文化、文章にすることはなかなか難しいところである。日常の業務が反映されている。</p>

委員	富士見市としては、こういったものを選書してほしいという傾向的なものは伝えているのか。
生涯学習課	一般的な基準はあるが、そこから派生するカラー的なものは通常の業務の中から感じ取って選ぶものになるので、文章化することは難しい。公立図書館ということで基本的には広くいろいろな分野の本を集めるということを示し、そのうえで通常の業務から需要を読み取って選書をお願いしている。
委員	富士見市としてのカラーは今のところないということか。
生涯学習課	一般的な公立図書館として際立ったカラーを出すことは難しい。専門図書館ではないので一般的になる。
委員長	富士見市に関する郷土資料については網羅的に収集するが、他は一般的になると思う。
<p>4. その他 次回開催について</p>	
<p>次回は9月30日（金）午前10時から中央図書館視聴覚ホールで開催する。</p>	
<p>5. 閉会</p>	